

佐保田の丘



奈良教育大学附属中学校通信第一号（通算二十号）
二〇一二年（平成二十四）年四月六日発行



始まると始める

校長 松川利広

この三月、校長をご退任になった谷口義昭先生の後任として、四月一日付で校長に就任いたしました松川利広と申します。奈良教育大学では、教職大学院（教育学研究科専門職学位課程）の教員として、児童・生徒の言語力（主に国語力）に関する研究を教育内容と教育方法の両面から進めています。

まだ数日しか経っていませんが、校長として、ここ佐保田の丘に立ち、奈良の町並みや山並みを眺めながら、附属中学校のこれまでとこれからに思いを巡らしていますと、卒業生、旧教職員、在校生、現教職員、保護者、関係者の皆様からの附中の充実と発展を願う様々な声が聞こえてくるようで、その責任の重さをひしひしと感じているところです。

また本紙に別記しておりますように、三月末には長らく勤務していただきました教員が例年になく数で退職し、生徒や保護者の皆様にご心配をおかけいたしました。私をふくめ、それぞれの後任として着任しました教員は、伝統ある附中教育の更なる発展を担うべく、各々心を新たに精進してまいります。微力ではありますが、「ともに」の心を大事にしながら、よりよい学校づくりに励みたいと思っておりますので、よろしく願います。

さて、四月六日は、平成二十四年度第一学期の始業式が行われる日です。今日は、「始まる」と「始める」と「はじめる」と「この二つの言葉を交互に唱えている」と、感覚的に意味の差異が見えてくるのではないのでしょうか。それは、私たちに、声を出すことによって、その言葉と出会った使用したりした場面を想起し、多くの用例から一般化できる能力が備わっているからです。

「始まる」と「始める」の差異を一般化してみると、つまり文法的に説明すると「始まる」は自動詞で目的語をとりますが、「始める」は他動詞で助詞「を」を伴う目的語をとります。この目的語の有無は、主語と述語の強弱関係に影響します。自動詞「始まる」の場合、主語「何が」と「始まる」の間に落差はなく平坦な感じになります。他動詞「始める」の場合は、主語「誰が」にあたる動作主の強い意思が感じられ、主語は「始める」に比して強い関係になります。

では、始業式の「始」は、「始まる」でしょうか。「始める」でしょうか。私は、どちらかではなく、両方共了であると思います。制度の上で授業が「始まる」日に、一人の人間として、自分らしい目的語を吟味決定し、それを「始める」日として位置付けるのがよいと思います。

年度の初めは、誰もが期待と不安が交錯する緊張感の中に身を置いています。しかし、それは新しい出会いや発見につながる好機でもあります。そのチャンスを生かして、「いつの日か」ドアが開く（自動詞）のを待っているのではなく、「（私は）ドアを開ける（他動詞）」という強い意思と勇気をもって、それぞれの人生を切り開いていこうではありませんか。

春風や闘志いだきて丘に立つ（高浜虚子）

本年度の学年編成・おもな校務分掌

〔企画委員会〕

校長（松川）・副校長（井村）・主幹（谷口尚）・教務主任（八尋）・大谷・奥原・佐藤・竹村

〔校務分掌〕

教務部	◎八尋 奥原
文化部	◎中嶋 今辻 小倉
生活部	◎川合 長友 谷口 富山 葉山
図書部	◎竹村 竹花（佐久間）
整美部	◎堂上 河原
保体部	◎佐藤 福嶋 寺井
情報部	◎松田 広報事業部 ◎山本
研推部	◎佐古田 植村 小嶋 大谷

	主任	1組	2組	3組	4組	5組	学年付
1年	奥原	中嶋	富山	吉岡	長友	小倉	竹花 佐古田 福嶋
2年	植村	川畑	松田	山本	小嶋	大谷	寺井 川合 堂上
3年	竹村	葉山	今辻	佐藤	吉田	谷口 恵	八尋 河原

【年度替わりの人事異動について】

＜転退職＞

- 谷口義昭（校長）：奈良教育大学
- 河原滋（5組）：退職
- 植西浩一（国語科）：広島女学院大学に転勤
- 西仲則博（数学科）：式下中に転勤
- 出井義雄（英語科）：香芝北中に転勤
- 福田哲也（理科）：都南中に転勤
- 安達めぐみ（理科）：退職

＜新着任＞

- 松川利広（校長）
- 植村啓介（数学科）
- 富山敦史（国語科）
- 小倉智子（5組）
- 河原初江（英語科）
- 山本浩大（理科）
- 竹花彰太（理科）
- 寺井宏文（保健体育科）

有馬教諭は本学大学院での履修の為1年間修学休業し、又、近藤俊一郎に替わり、山野修司が体育科講師として着任します。

日	行事
10日	〔四月〕 第六十六回入学式
11日	身体測定
12日	検尿・耳鼻科検診
13日	部活動紹介
18日	全校PTA 役員推薦委員会
19日	歯科検診
20日	生徒会意見発表会・投票
23日	〔特支援〕 新入生歓迎会
25日	新旧評議員会 心電図一年
27日	奈良めぐり（全学年）
1日	〔五月〕 開校記念日（休み）
8日	眼科検診
9日	育桜会・教育後援会総会
10日	生徒会総会・認証式
13日	奈良市民体育大会
19日	三年沖繩修学旅行
22日	〔23・24日振替休日〕
21日	一年中間テスト
22日	二年臨海実習
25日	〔25日疲労回復休暇〕
26日	一年野外実習
28日	〔28日振替休日〕
30日	〔六月〕 二、三年中間テスト
31日	〔特支援〕 授業参観
1日	評議員会①
2日	（生）リーダー研修会
4日	15日 四回生教育実習
10日	奈良市中学校総体
14日	スポーツデイ（鴻ノ池）
21日	宿泊行事報告会（PTA）
27日	〔七月〕 期末テスト
4日	評議員会②
6日	〔特支援〕 校外学習
13日	〔特支援〕 PTA
17日	〔特支援〕 PTA
18日	〔特支援〕 PTA
19日	期末懇談（全日）
20日	一学期終業式

一学期のおもな行事



